

身の内郷に、遠征したついで、之ける機会を逸しましたついで、將は村報を自己紹介の書面にて、將來御指導をお願いする様にしたと思つて居ります。

### 内郷村報の 六大使命

- 一、政務行政を監督して、村力増進を標榜す。
- 二、村内公私各機關の活動状況を報導し併せて其協調を計り、總現和協努力の實現を期す。
- 三、本村社會事業の徹底を期す。
- 四、村内の善導興行を奨励し、且之を獎勵す。
- 五、本村と本村出身者及本村關係者との聯絡を計り、且其發展向上を期す。
- 六、餘餘力を以て國民奉獻に當る。

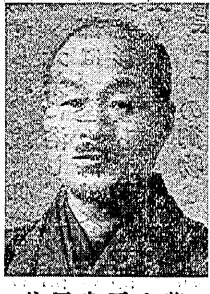
# 内郷村幸

天法入則  
從人順ナ  
ルベシ

## 「慈光」と天泉畫伯

大内民惠

五月八日白水阿彌陀堂に於て、歴史畫の大家、荻生天泉畫伯が、其傑作「慈光阿彌陀堂受茶羅」の奉納式が舉行せられ、記者も亦其席末に列する光榮を得、同堂保存會顧問を代表して、一場の謝辭を述べたのであるが、之が其大要である。

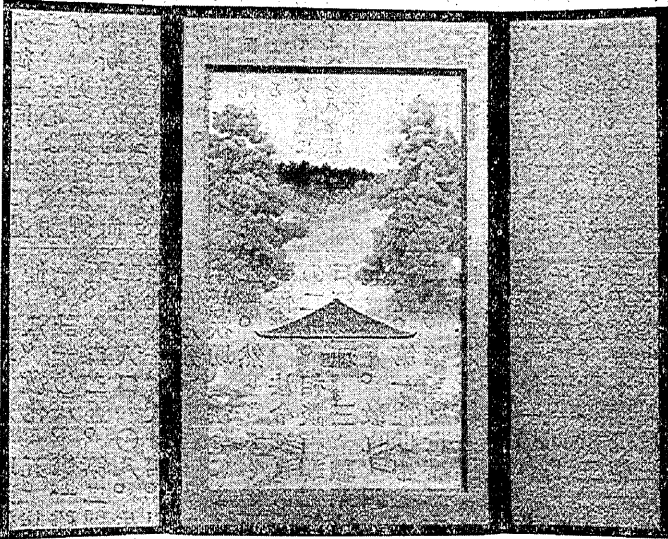


荻生天泉畫伯

寶阿彌陀堂保存會顧問を代表して、御參列の各位と共に、荻生天泉畫伯に對して、一言御禮の言葉を述べさせていただきます。畫伯の御郷里は、安達郡太田村であり、私は其同郡杉田村であります。余より四十余年前は、今日の高小學校は、郡内に二三

を數ふる位であつたので、私共兩人は、郡役所の處在地であつた、二本松町の小學校に於て、高等科の課程を終へましたので、年ころちがへ、私は我畫伯と同窓たる光榮を有して居るものであります。そうした關係にありますので、畫伯が三十有余年間、苦心慘愴、今日の大をなされたる、御奮闘の歴史は、具さに存じて居る積りであります。故に本日ここに、畫伯の御面前に於て、いろいろ申し上げる事は甚だ失禮かと存じます。同窓の誼みを以て、特に御容赦を願ひ、私の記憶をたどつて、畫伯が如何に、斯道に精進せられたか、又如何に榮冠をかち得られたか、聊か其一端を申し上げて、各位と共に、畫伯を禮讃して感謝の微衷をいたしたいと思ふのであります。

梅檀は二葉より香しで、畫伯は既に小中學時代に於て其天才の閃きを顯はし、明治三十五年二十歳にして、東京美術學校に入學、同三十七年より特に故橋本雅邦翁に師事し、同四十年同校を卒業、引きつゞき同四十二年迄同校研究科に席を置いて精勵せられたのが、其今日ありしめ、畫伯の出發点であり、又其基礎をなしたのであります。爾來三十五年に於て、其間明治時代の十年間は、畫伯の研精時代であり、大正時代の十五年間は、躍進時代であり、而して昭和時代の十有五年間は、完成時代といふべきものであると思は



荻生天泉畫伯の奉納阿彌陀堂受茶羅

るものであります。而て其研精時代に於ては、青年畫家の搖籃とも云ふべき、二葉會を始め、美術研精會、巽畫會等に於て、入選受賞する事十有二回に及び、次いで畫家の登龍門たる文展に二回も入選

るものであります。而て其研精時代に於ては、青年畫家の搖籃とも云ふべき、二葉會を始め、美術研精會、巽畫會等に於て、入選受賞する事十有二回に及び、次いで畫家の登龍門たる文展に二回も入選

### 奉納文

本邦平安朝の阿彌陀如来を本尊とし、觀音、勢至兩菩薩、增長、持國、二天を脇侍とし、福島縣下に於いて、本朝三阿彌陀堂の一として美術史上に燦然たる光輝を發するものは、實にこの白水阿彌陀堂なり。余昭和八年の夏、其眞を寫すこと前後二回、其尊像の優雅にして崇高なる、御堂の宏壯にして清麗なる、四圍の翠巒の露華として蒼々たるを見、改めて白水阿彌陀堂受茶羅を作らんことを、歸京の後、戒齋沐力を用ゐること二ヶ月にして漸く完成し、慈光と題して第十四回帝國美術院展覽會に出展せり別當願成寺住職赤土興榮師を始め、信者各位、余の企を聞き、滿腔の誠意を寄せられたるを以て、前に裝潢を完成し、諸佛前に捧ぐ、仰ぎ願はくは、諸佛諸尊、余が渴仰の微衷を嘉納し、慈悲の毗を垂れられんことを。恐惶謹白。昭和十二年四月二十八日。荻生守俊

し、特に其末期たる明治四十五年には、東宮殿下御前揮毫の榮譽をさへ忝うし其躍進時代に入りては、其初頭大正二年に於て研精會出品畫が、宮内省より御買上げの榮を賜はり、文展に於ては第九回よ

本報發行所内一課の事業にして、其の社務は子孫に對する遺言を授けしものなり。

本報發行所 内郷村報社  
編輯長 大内民惠  
印刷所 平活版所

一月三十日

に至つて更に其眞價を發揮するに至つたのであると思はれます。進んで其の完成時代たる昭和年

つ第八第九兩回の帝展に入選第十回は特選第十回より第十五回は無鑑査出品の榮譽をうけ、其間國風會、福島縣、東京府、柳原二位局、宮内省(四回)外務省(一回)等より、或は依頼せられ、或は仰せ付けらるゝ光榮に浴し、其作品の一部は、遠く海外各地に、其光彩を放ち、又其一部は長くも

雲上の御物と、相成つて居らるゝ事と、拜察し奉るのであります。其他久邇宮家御杉戸の揮毫拜命を始め、無数の各種展覧會に出品して、其名譽を國内外に馳せ、同時に斯道各種團體の重鎮となり終に今日の國寶的書家となるに至つたのであります。今日こゝに奉納せられたる慈光 阿彌陀堂曼荼羅は、書伯苦心の傑作であつて、前述の第十四回帝展に、無鑑査出品の榮譽を得られたる、國寶的名畫なのであります。もとより我々には、之を批判鑑識する資格はないのであります

一拜直ちに、崇高幽遠、變幻たる慈光に、打たれる感

感佩 措く能はざるは申す迄もなく、特に郡を同うし、學窓を共にしたる私の身にとつては、眞に感激に堪へないのであります。たゞ此上は、各位と共、こゝに安置する、五體の御佛像、之を納むるこ

從來坑内に於て石炭を採掘するには、先づ發破孔を穿ち、爆薬を込め、導火線を通じ、粘土栓を以て之を塞し、点火して爆發を行ふのであるが、其粘土栓には種々の欠点を有するを以て、經坑長小島義彦氏は、こゝに大に鑑むる處あつて、幾多苦心の研究を経て、終に簡便にしてしかも爆薬の節約は勿論、作業上大の利便を有する装置を發明し、昨昭和十一年一月特許出願中の處、本年三月一日附、

### 探炭上貢獻偉大 小島坑長の發明

特許出願公告七六〇號を以て、公告になつたので、近日中特許の査定がある筈である。今左に前記公告掲載の要領を掲ぐ。

ニシテ完全ニ爆發セシムル發破孔閉塞装置ヲ得ントスルニ在リ

國寶 定をうけ、更に一段、徳尼御前の深き遺徳と彌陀の輝く慈光とを、景仰する日の來らんことを、念願して止まない次第であります。

發明ノ性質及目的ノ要領  
本發明ハ彈性アル圓板ノ中央ニ導火線ヲ通ズベキ孔ヲ穿テ且半徑ノ線ニ沿ヒテ切斷シ此部分ヲ重合シテ成ル圓錐形閉塞器ト先端ヲ圓錐形トナシ其ノ頂部ヨリ導火線ヲ通ズベキ孔ヲ斜ニ側面ニ貫通セシメテ成ル挿入棒トヨリ成ル發破孔閉塞裝置ニ係リ其目的トスル所ハ從來閉塞器ト發破孔壁トノ摩擦抵抗大

五月六日阿彌陀堂に 語てし折よめる 民 惠 折しもあれそ吹く風にちり初めぬ彌陀のみまへの八重櫻花

### 方面事業取扱數 (三月分)

- 生活扶助、法令によるもの二〇。
- 二五。然らざるもの二〇。
- 三三。相談指導、八。
- 四。職業紹介、八。
- 五。教化、五。其他、計一〇八。
- 一。第一種世帯、二九。
- 二。第二種世帯、二六。
- 三。生活安(四月分)。
- 四。生活扶助、法令によるもの二。
- 五。然らざるもの三。
- 六。兒童保護、法令によるもの二。
- 七。九。相談指導、二六。
- 八。職業紹介、其
- 他、二九。
- 九。教化、四。
- 計一〇八。
- 一。第一種世帯、二九。
- 二。第二種世帯、二六。
- 三。生活安(四月分)。
- 四。生活扶助、法令によるもの二。
- 五。然らざるもの三。
- 六。兒童保護、法令によるもの二。
- 七。九。相談指導、二六。
- 八。職業紹介、其
- 他、二九。
- 九。教化、四。
- 計一〇八。

納税の義務(一) 内郷村書記山崎千朝 國民の三大義務たる兵役の義務教育の義務納税の義務は既に尋常科の生徒ですらよく承知して居る。而して兵役の義務は男子満二十才になれば進入して徴兵検査を受け、而も合格すれば無上の名譽とするに合つたのを見て、現今に於ては兵役の義務は殆んど徹底の域

に達したる見ても支支不々、教育の義務は寧ろ學齡に達するを待たずとも、如何に兒童の教育に重きを置くかを實証する事が出来る。然らば納税の義務は果して兵役教育と共に進んで此義務を果すべき覺悟があるかと言ふ事、勿論大勢の中には常に期日内に完する人達も相當あるが、遺憾ながら未だ前二者を併行する事は中々困難である様に思ふのである。同

日本評論社 東京京橋三丁目 發行所 東京所 内郷村報社

豫防注射開始 磐城に於ては、五月十日、四月十八日の三日に涉り、

本紙贊助金寄贈芳名 金壹圓 内郷 無名氏 金拾圓 同 某氏 金五拾圓 東京 某氏

矢野 恒太 大内民惠著 教育制度改革概論 (四六版二二頁 定價五十錢 郵税六錢)

行き詰れる現代の教育制度を解體して、學理と實際と、歴史と實驗とから新に大内案九主義を提唱す。天下知名の士の賛同枚舉に遑あらず。味ど未だ一人の抗議者も現はれず。

我國教育學界の巨匠 前京大總長小西重直博士 書を寄せて曰く、多年ノ御體験ト實地ノ御試驗ニ基キ眞學界ノ大精神ヲ拜味仕リ不忠感敬ニ打テ奉ル候云々。

發行所 東京所 内郷村報社

日本評論社 東京京橋三丁目

豫防注射開始 磐城に於ては、五月十日、四月十八日の三日に涉り、

### 磐城炭礦業所の新陣容

運輸課 課長×筒井 磐雄

あつた。而して特に有益有意義であつたのは、在郷軍人海軍班長、住吉抗勞務主任山崎長太郎氏、多手廻望

消防伍長以上。青年會幹事長以上。修養團支部幹事。在郷軍人分會班長以上。温

四日十八日の三日に涉り、

### 誓 詞

謹シテ八阪神社ノ大前ニ白ス 今回ノ衆議院議員選舉ニ際シ 互ニ相誠ニ相率テ 必ズ清明潔白ナル心ヲ以テ事ニ當リ 苟シクモ非曲アラシメズ 忠良ナル議員ヲ選舉シ 以テ天業ヲ翼賛シ奉ランコトヲ期ス 冀クハ冥鑑ヲ垂レ給ハンコトヲ 茲ニ一同ヲ代表シ 謹ミテ盟ヒ奉ル

昭和十二年四月二十三日  
福島縣石城郡内郷村長 沼田濱之助

(附記) 此誓詞の精神は、来るべき村議選舉に於ても、亦正に遵守すべきものであると思はるゝので、特にこれに之を掲げて、一般村民各位の参考に資する次第である。 大内民恵

### 村會議員選舉案内

- 一、投票の場所 内郷村役場内
- 二、投票日時 六月八日 自午前七時 至午後六時
- 三、受附所 例の通り三ヶ所と致しましたから、静肅に定められた入口より入場券を持参し入場券と引換へに、投票用紙を貰ひ、投票記載所に於て候補者一人の氏名を正しく書いて、投票用紙に入れて、定められた出口より退場し、出口の處に於て投票済證を交附しますから、帰宅後直ちに各自の門戸に貼付して下さい。
- 四、棄権せず、選舉を正しく行ひ、罪を犯さぬこと 吾人の選舉權は、村政組

織の根本たる貴き權利であります。必ず棄権してはなりません。選舉が正しく行はれて、正しき村政行はれ、村利民福も増進せられ、村政の浄化も選舉の公正に依りて遂行し得られるのであります。故に選舉程大切なものはありません。善政も悪政も此の投票用紙一枚の使用によつて岐れるのであります。尊き選舉權を行使するに、犯罪行為に涉る様なことがあつてはなりません。種々な情實や利權に惑はされて、心にもなき選舉をして、選舉權の神聖を汚してはなりません。四月十五日發行(三)に依り、必ず自己良心の命する候補者に投票し、公明正大に行使下さることを切望致します (係)

### 振興委員會

其第二回を、四月十四日午後一時より村議堂に開催。縣主催選舉肅正映畫會開催に關する件を附議し、次に沼田會長より、衆議院議員總選舉に對する覺悟の訓示及金澤副會長の「自治振興繪話」の講話があつた。

### 選舉祈願と旗行列

四月二十三日午後一時より振興委員一同綴八阪神社に

### 急 告

田稅第四期、營業稅附加稅前期の納稅期限は、本月二十五日限りです。それ以後に納めれば、罰金を徴せらるゝ。田村長は別項掲載の誓詞を奉讀した。又村内各學校に於ては、各學區内に旗行列を行ひ、其趣旨の徹底を期した。

### 選舉映畫會

別項掲載の通り、縣主催の選舉肅正映畫會は、四月十四日午後七時より、第二警署城劇場に於て開催。沼田村長の挨拶、菅野縣視學の講話、次いで明朝の曉、雲明け行く等、有益なる映畫あり、入場者約五百人、非常な盛會であつた。

### 衆議院議員選舉概況

選舉人名簿登録數、六二〇八。投票者數、五一八四。棄権者數、八九六。投票無資格者數、一八八。棄権率一割四分四厘強。候補者得票數。一八二、山田六郎。七四二、星一。三八三、植松鍊馬。二八〇一、比佐昌平。四五、太田秋之助。九七〇、鈴木辰三郎。尙選舉の公營に依り、設備使用回数合計二十回。内第一校四回、第二校五回、第三校六回、家政校五回。

### 十二年度 徵兵検査

△本籍者五月五日執行。壯丁人員、九八名。甲種合格、三四名。第一乙種、二名。第二乙種、二名。丙種、一名。丁種、二名。△入寄留者五月八日執行。壯丁人員、一二四名。甲種合格、四四名。第一乙種、二名。第二乙種、二名。丙種、二名。丁種、五名。丙年度甲種合格者三、五五。昨年度甲種合格者三、五五。に對し、本年度は三、五五の好成績であつた。

### 海軍志願合格

本年度本村に於ける海軍兵志願者總數十八名中、合格者六名にして、採用者は左記三名に決定した。

### 養豚組合設立に就いて

本縣に於ける養豚は、其の數三萬餘頭戸數二萬餘、販賣頭數四萬餘、此金額百萬圓を突破する現況なり、依て之れが統制を計り、飼育に販賣に改善を計り、本年一月福島縣養豚聯合組合を設立したり。本村に於ても養豚組合を設立し、養豚業の改善發達を期せん。本村に於て養豚數は六百頭餘にして、販賣數は三百頭餘。夫れ養豚は含肉並に肉製品の原料たるは勿論、自給肥料生産となり、以て地力を増進し、金肥を減少し、農家に現在の養豚は其種類雜駁にして、肉質不良加工の目的に適せず。飼料費並に肥料的價値の損失を計り、前に依つて豚種の改良方法を講じ、組合の損失を補ふ方法を講じ、組合は其の目的達成の爲に、飼育者は、其の擴張を計り、自今飼育する者は、組合に入るに、努力せられんことを希望す。一、生産並販賣の統制、二、飼料の共同購入並研究、三、豚種の改良自給肥料生産並に改善衛生施設、其の他

- 機關兵 宮澤 赤石澤浩中
- 水兵 一ノ坪 羽賀 誠
- 同 高倉 庄司 猛夫

本年度學級受持表

Table with columns for school level (e.g., 高等科, 高等科), student count, and teacher names. Includes sub-sections for '青年視察研究會' and '農家曆'.

內教員會總會

四月十五日午後三時半より内郷村教員會春季總會を兼ねて觀摩會を開催、來賓として沼田村長を始め役員一同、校醫學務委員等二十五名、それに會員百二十七名を加へて、總數百三十七名といふ盛會、會務の報告協議、新任者の紹介等あり和氣藹々たる中に閉會。いよ／＼本村教育の基礎を固めたるの感あつた。

青年視察研究會

五月十二日午前八時より、本村の戸口と有權者二六六六、村會議員選舉有權者、五三三〇。

要救療者數

昭和十二年度分、恩賜財團濟會要救療者は、方面委員の手によつて調査の結果、戶數七六、人口二八六にし

農家曆

五月 育成の月 (中包) 苗代雜草拔取及害虫驅除 床播瓜類茄子の定植。葱頭球根露出。馬鈴薯の害虫驅除及補肥。蕃椒の定植。春蒔人参間引及補肥。果樹の消毒及梨桃の摘果。ダリヤ石竹菊等の押木。

農家曆

六月 奮闘の月 (上包) 苗代神抜き。螟虫卵驅除 瓜類の除草施肥中耕摘心。トマト胡瓜に支柱を立てる。野蜀葵の播種。桃の袋掛。雞舎の清潔と病虫害の驅除。糞渣の堆肥製造。豚の種付。

(中包) 田植、大麥並二毛作大麥收穫。蔬菜類の補肥。春蠶の上簇時無及二十日大根の播種。瓜類ト病豫防。セロリの定植。以上成就いて、若し不明の点があり指導を望むる人は、其二日前に村農會迄申出下さい。(係)

金一圓一四錢を賦課し、地租割の賦課徴集は、四月一日現在の田畑貸賃價格を標準とし、其金額を一期に會員割と共に、七月三十一日限徴收すること決定した(係)

得られたる、國資的名畫なのであります。もとより我々には、之を批判鑑識する資格はないのであります。

矢野 恒太序 大内民惠著  
教育制度改革概論

(四六版二一頁 定價五十錢 郵税六錢)

行き詰れる現代の教育制度を解體して、學理と實際と、歴史と實驗とから新に大内民惠主義を提唱す。天下知名の士の賛同攻撃に違わらず。されど未だ一人の抗議者も現はれず。

我國教育學界の概  
前京大總長小西重直博士  
書を寄せて曰く、多年御體験下實地御試練ニ基ク眞學ヲ大精神ヲ拜味仕リ不恩感謝ニ打テ候云々。

發行所 日本評論社  
東京三丁目  
取次所 内郷村報社

便を有する装置を發明し、昨昭和十一年一月特許出願中の處、本年三月一日附、

而して特にならば、男子二十才にして兵役の義務は男子二十才に於ては進んで徴兵検査を受け、而も合格すれば無上の名譽とする様になつたのを見て、現今に於ては兵役の義務は殆んど徹底の域

○本紙贊助金寄贈芳名  
金壹圓 内郷 無名氏  
金五拾錢 同 同  
金五拾錢 東京 某氏

磐城炭礦業所の新陣容

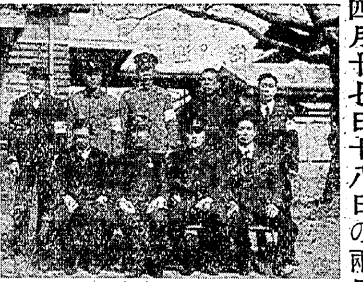
磐城炭礦業所に於ては、從來の技術部を廢して、探炭工作の兩部を新設すると同時に、全般に涉つて職員の新陣容を整へたが、今其幹部級の氏名をあげれば左の通りである。×は新任

礦業所

所長 菅原萬治郎  
副所長 濱崎善三郎  
△採炭部 部長 ×田寺 茂實  
礦務課課長兼 ×田寺 茂實  
町田坑坑長兼 ×茅根 正夫  
綴坑坑長 ×小島 義彦  
住吉坑坑長兼 ×田寺 茂實  
一本坑 主任 ×都築 源作  
ロ一坑 主任 ×志賀 隆壽  
ハ二坑 主任 ×志賀 隆壽  
ニ排氣暨坑主任 竹本倉次郎

△工作部 部長 ×加美山武夫  
機電課 課長 ×林田 滿  
發電課 課長 ×金原喜一郎  
製作係主任(兼) 林田 滿  
建築係主任(兼) ×加美山武夫  
△事務部 部長 濱崎善三郎  
庶務係 主任 ×柳瀬菊次郎  
調度係 主任 ×長堀 壯三  
販賣係 主任 ×箱崎瀧三郎  
會計課 課長 齋藤 祐治

山神祭典



四月十七日十八日の兩日に

運轉課 課長 ×筒井 磐雄  
主任 ×御代 富彌  
勞務課課長兼 ×上原 四郎

「慈光」奉納式

櫻花燦漫の花巻温氣に一泊。八戸市外に天下第一の稱ある甲冑、舞樂面其他を鑑賞して、石城白水阿彌陀堂に向ふ。  
第十四回帝展出品の慈光(阿彌陀堂受茶羅)の大額面を奉納せんが爲めなり。  
五月八日午前十時、奉納式は阿彌陀堂内に行はる。開會の辭に次いで、本尊御法樂の式は別當願成寺住職亦土興榮師始め十餘名の僧侶によりて頗る盛大に行はれ、次

聯合觀櫻會

四月十九日平松ヶ岡公園に於て、左記團體より成る、四百二十余名の役付聯合大觀櫻會を開催した。  
安全委員。親和會世話役。

部落常會

五月八日午前十時より、淺野翁頌德館に於て、磐城部落常會幹事(六五名)同親和會役付(六五名)勞務職員(二〇名)の會議を開催し、上原課長より、内郷村振興委員會規定、部落常會設置及其目的等に關する告示あり、次に山元及坑内の現況等の説明があつた。

豫防注射開始

磐城に於ては、五月十日十四日十八日の三日に涉り、峯根、平太郎、町田、竹ノ内各區従業員及家族に對し、豫防注射のため、出張注射所を執行、漸次全山に及ぼし、徹底的豫防を行ふ事となつた。

高坂女子青年會 行樂の一日

四月二十九日は、天長の佳節! しらんだ東京には、一点の曇りもない! 今日高坂女子青年會、年來の宿望であつた、沼の内辨天參詣を兼ね、鹽谷岬燈臺の見學だ、三々五々集つた會員は、其數六十名。山崎會長より、諸般に涉つて懇篤なる御注意後、七時大メス二室に分乘して、一路沼の内に向つた。語りつゝ、笑ひつゝ、小川をわたり、來の花畑を縫つて、辨天様に着いたのは八時半、先づ善女の一團は、各自の念願を前に捧げ、神秘的な靈沼に臨んで、寄せる赤黒の鯉群に、餌を投じ、それより徒歩にて燈臺に到り、保員の方から諸設備に關する、詳細なる説明を承りつゝ、燈臺。湛然たる大洋を下瞰して、大に浩然の氣を養ふ。かくて燈臺後、おひひと海邊を散策し、嬉戯して、再び車中の人となり、夕陽を浴びつゝ、歸途についた。

「慈光」奉納式

(國寶巡禮の一節)

荻生天泉

豫防注射開始

高坂女子青年會 行樂の一日

開拓記録 (五)

北海道十勝國上川郡 清水町 清水山莊 大内 一 郎

拜啓 昨日は御送金に御手紙、有難く拜受いたしました。本日午後から母と共に、買物券々市街に出掛け存じます。一昨日帯廣で開催の縣人会に出席すべく、先づ杉田さんを訪問、色々狐の話を伺つて居る處へ、佐藤尾田郵便局長も来り、連れ立って會場に行つたら、出席者六十余人の盛會、清水は遠來の客ださ、上席の方にすわらせられ、光榮の三氏も見え、會長の紹介で副會長にも御目にかかりました。さうするが、意外にも其昔お父さんの教子だつたといふ、現在の幹事をなして居られる杉田出身の鈴木佐安氏にお目にかつたのです。聞けば、お父さんが福島に御在居の頃、身上相談に上つたのが最後で、其後音信絶つて居つた事、マア今夜は拙宅に泊つて下さい、電話をかけておくらさ大喜び、それから私を引きまはして、この方は大内さんといつて、私のお父さんの息子さんなのだ、と幹部達に紹介して、大いにお父さんを徳として居りました。そこへ四倉出身の長谷川大樹局長があらはれ、君は幾つだ二十四か、拓殖實習場の先生さは何れも別懇で、君の話をよく聞いて居た。それは頼母さく、俺の苦心談を聞いてくれなさい、俺の苦心談を聞いてくれなさい、眞に和氣藪々たる會合でした。光榮の三氏には、遺憾ながら蓋をあける機会を逸しましたつたが、之は村報で自己紹介の書面まで、將來御指導を乞願する様にしたと思つて居ります。

なき接待を蒙りました。氏は目下金融を業とし、帯廣の財界にも相當市を利かせて居るらしく、上流社會の人々とも大抵交際して居るから、何でも御不自由な事があつたら、遠慮なく云つてよ。さう云つて、心から御親切に仰つて下さいました。歸りにお母さんへのお土産ださ、餅菓子も贈られ、隣近所迄見送つて下さいました。今日母から禮状を出しましたが、お父さんからもお便りを下さり、お父さんからも本宮の伊藤さん、八島田の吉野さん、川俣の大野さん等々の關係者も居られ、なかく面白いです。今度お父さんが来られたら、鈴木さんとも協議して廻つて見られたらと思つて居ます。之を要するに此度縣人会に出席して、益々大にやらねばならぬと考へさせられました。

二十五日附お手紙、三四日前にいたゞきました。御無事で何より、當方一同も相變らずですから御安心下さい。昨今は零下十二三度(室内)で、なかく厳しい寒さです。今朝は七度だそう。毎日お天氣續きなので、日中は大した事はありませんが、中々五六日お金の飯が上下寒いの、中には少々お友飯らしくなるので、寒いのだといふ事を痛感させられますが、體には大した感じもなく、皆至つて壯健です。福島行、世界教育會議提出論文御執筆、第一校奉安殿遷座式、おはる殿嫁取り等々、なかく御忙しう御座います。此上は、豚の飼料云々、私も之はと思つたのでした。私の愛猫クロが死んだのでした。マアよかつたです。彼も幸福者でした。十餘年手伺ひし黒も炬燵にて大往生さきくがうれしき安らかに永久にねむりし黒猫の幸多かれといふ我がも思はずこんな事を口づさみかけた話はずつと前に戻りますが、豚をやる時、手入れをする時に、今度人間に生れて来よ、南無阿彌陀佛を覺えるよさ、いつも私が猫と話をする様に、云ひ聞かせ居つたのです。之をどうあらはしたのかさ考へて居つたのですが、二三日前に、豚も豚も世は人さ生れ来よ、南無阿彌陀佛と覺えてさやつて見たのですがどうでせういよやく殺され、煮湯をかけられ奇麗に毛をさらされて、真白い他愛のない格好をして、瓶の上に横たはつて居る姿を見た時に、何の苦痛もなく一寸の間に往生し、肉さなつて我々人間を養つてくれる。何と立派な往生である事よさ、私はしみん、考へさせられました。獣醫さん同感だお申されました。六日にお坊さんが年始に来られ、お盡になつたので、豚をつぶしたのですが、おがられますか何つたら、何でも頂きます事、而つたものを殺して食へるさなるさ難にした處で氣持が悪くて、食べない事でもしたから、どうですうではあるが、一面又初めから自家用として飼つたものを、假りに之を賣つたさすれば、矢張り他人に消費されて食へられて行くさ運命が出来て居るのでせう。それが可愛からつて、飼つてくれた人々に、感謝されつ、食べられたら、豚たるもの又以て嘆すべし、此上の幸福はないのではない

でせうか、どうぞあなたもそのお積りで、澤山召し上つて下さい。今日は日曜であり、九時から小学校に、青年體験發表會があるから、同じく小学校に、酪農の講話があるので出て行きました。例の手製の枕屏風に、二日の書き初めに、良寛和尚の千歳のうちの一日なりさもいかにして誠の道にかなひなん病氣になつた時には病氣になつた方がよろしく、死ぬ時には死んで免る唯一の妙法にて候(良寛)今日の問題は何ぞ? 暇ふことなり。明日の問題は何ぞ? 暇ふことなり。あらゆる問題は何ぞ? 死する事なり。(ユニーゴ) 文句を見つけた時に、書く事にして居ります。二郎の羽織代、お支拂ひ下さつたので、ありがたうで御座います。又ミシンのオルガンもお送り下さるさ。五六日前に支那の國分さんから、大變収入もあるさ愉快に暮して居る事さ、懸命に蓄財して、將來は息子の爲めに、北海道で農業をやる様にしたい云々お申して来ましたので、うれしく存じて居ります。昨日午後「國民の教養」新聞の責任「轉載の萬朝報」御手紙いただきました。次に先きにお送りしたソウセイシに就いては、何のお便りもなかつたので、どうなされた事かと思つて居つた處、うまうまお一人であつて居りました。さういふ御通信に接し、一同大笑ひ且つは大満足です。私も雞飼ひが上手になり、此寒中にもかかはらず、何れも成績よく産卵いたして居ります。家畜全部も、元氣よく成長いたして居りますから御安心下さい。 一月三十日 きみ

内郷村報の 六大使命

- 一、政務政議を題して、村の主要事項を提議す。
二、村内公私各種機關の活動状況を報導し併せて其協力を計り、進現和協努力の實現を期す。
三、本村社會事業の徹底を期す。

- 四、村内の善行義行を表彰し、且之を奨励す。
五、本村に本村出身者及本村關係者との聯絡を計り、且其發展向上を期す。
六、食餘力を以て國民指導に當る。

本報發行所へ内一筆の事業にして、其の社務は子孫に對する遺言を授けしものなり。

研精 時代に於ては、青年畫家の搖籃とも云ふべき、二葉會を始め、其の社務は子孫に對する遺言を授けしものなり。

内郷村報 天法人則 伯は既に小中學時代に於て其天才の閃きを顯はし、明治三十五年二十歳にして、